

令和元年6月19日

## 令和元年6月物価モニター調査結果（速報）

### 1. 調査の目的

原油価格や為替レートなどの動向が生活関連物資等の価格に及ぼす影響、物価動向についての意識等を正確・迅速に把握し、消費者等へタイムリーな情報提供を行う。

### 2. 調査の内容

全国47都道府県の物価モニター2,000人が、価格の見取調査を行うことにより、生活関連物資等の価格（特売品等の廉売価格も含む。）の動向を把握する。また、物価モニターに対し、物価動向についての意識等を調査し、その動向を把握する。

### 3. 調査結果の概要

#### 【価格調査結果】

- ① 価格が前月比で上昇した品目数が、下落した品目数を上回った。  
「上昇した品目数一下落した品目数」は+17と、前月の+17と同じであった。
- ② 価格上昇幅が前月比1%以上の品目は、カップ麺(+4.0%)、豚肉(ロース)(+1.0%)、ポテトチップス(+2.9%)、アイスクリーム(+1.8%)、ティッシュペーパー(+1.7%)。
- ③ 価格下落幅が前月比1%以上の品目なかった。

#### 【意識調査結果】

- ① 今年のゴールデンウィーク期間中にどの程度連続した休みがあったか聞いたところ、「10日間以上」と回答したモニターの割合が44.6%と最も高く、「6~9日間」が23.0%、「2~5日間」が16.9%と続き、「連続休暇はなかった」と回答したモニターの割合は15.4%であった。
- ② 今年のゴールデンウィーク期間中における主な過ごし方について聞いたところ、「自宅での休養」と回答したモニターの割合が55.5%と最も高く、「家事（掃除、料理、D I Y等）」が51.4%、「ショッピング」が39.4%と続いた。
- ③ 例年と比較したときの、今年のゴールデンウィーク期間中における家庭の支出について聞いたところ、「例年と変わらない」と回答したモニターの割合が45.0%と最も高く、「ある程度多かった」が29.1%、「やや少なかった」が10.4%、「かなり多かった」が10.3%と続き、「かなり少なかった」と回答したモニターの割合は5.2%であった。
- ④ 今年のゴールデンウィーク期間が例年より長かったことにより、消費生活等の面で困ったことはあったか聞いたところ、「困ったことは特になかった。」と回答したモニターの割合が44.8%と最も多く、「店舗や道路が混雑しており、買物等に時間がかかった。」が24.7%、「医療機関や介護施設等が利用しにくかった（できなかった。）」が19.3%と続いた。
- ⑤ 今夏のボーナスについてどのように使う予定か聞いたところ、「貯蓄」と回答したモニターの割合が29.5%と最も多く、「国内旅行」が11.9%、「ローンの返済」が11.8%と続いた。

### 4. 次回公表予定

7月物価モニター調査結果は7月18日（木）に公表予定。

※7月物価モニター調査は、7月4日（木）～8日（月）に実施。

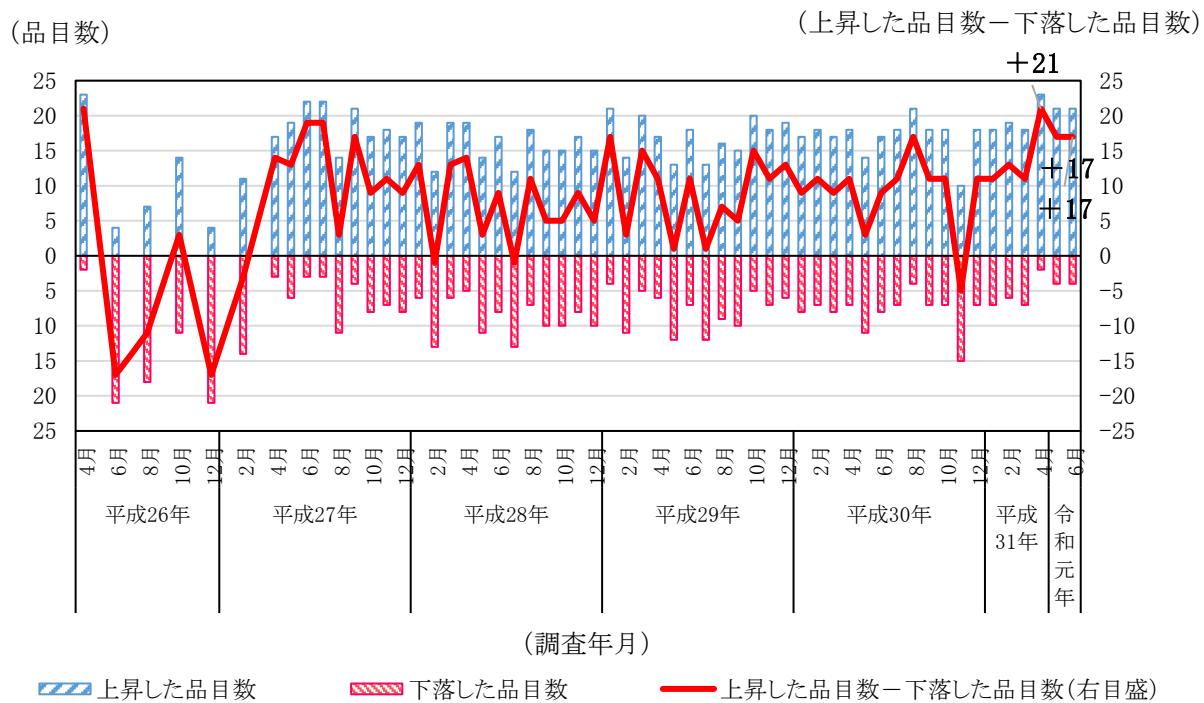
※速報取りまとめ後に集計した分については、翌月の速報における前月値に反映させる。

※過去の調査結果及び調査結果のバックデータについては、以下のURLを参照。

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_research/price\\_measures/index.html#price\\_monitor](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/price_measures/index.html#price_monitor)

## 【価格調査結果】

### ① 上昇した品目数と下落した品目数（前回調査比及び前月比）



(備考) 1. 平成 27 年 4 月以前の調査については前回調査比、5 月以降の調査については前月比でそれぞれ税抜価格が上昇した品目数及び下落した品目数を示す。  
2. 平成 27 年 4 月以降の調査では、それまでのまぐろ（ツナ）缶詰、マヨネーズ、カレールウ、灯油、ガソリンの 5 品目に代えて、ヨーグルト、からあげ弁当、冷凍コロッケ、理髪代又はカット代、中華そばの 5 品目を調査。  
3. 平成 28 年 4 月以降の調査では、ビールの指定内容をそれまでの 1 缶に代えて、6 缶を調査。  
4. 平成 29 年 4 月以降の調査では、洗濯用洗剤の指定内容をそれまでの粉末タイプ 1 箱に代えて、液体（詰め替え・770～850g）を調査。洗濯代（クリーニング）の指定内容をそれまでの折り畳み仕上げに代えて、立体仕上げを調査。

### ② 上昇幅が前月比 1 %以上の品目

食料品 カップ麺 (+4.0%)、豚肉（ロース）(+1.0%)、  
ポテトチップス (+2.9%)、アイスクリーム (+1.8%)  
日用・家事用品 ティッシュペーパー (+1.7%)

### ③ 下落幅が前月比 1 %以上の品目

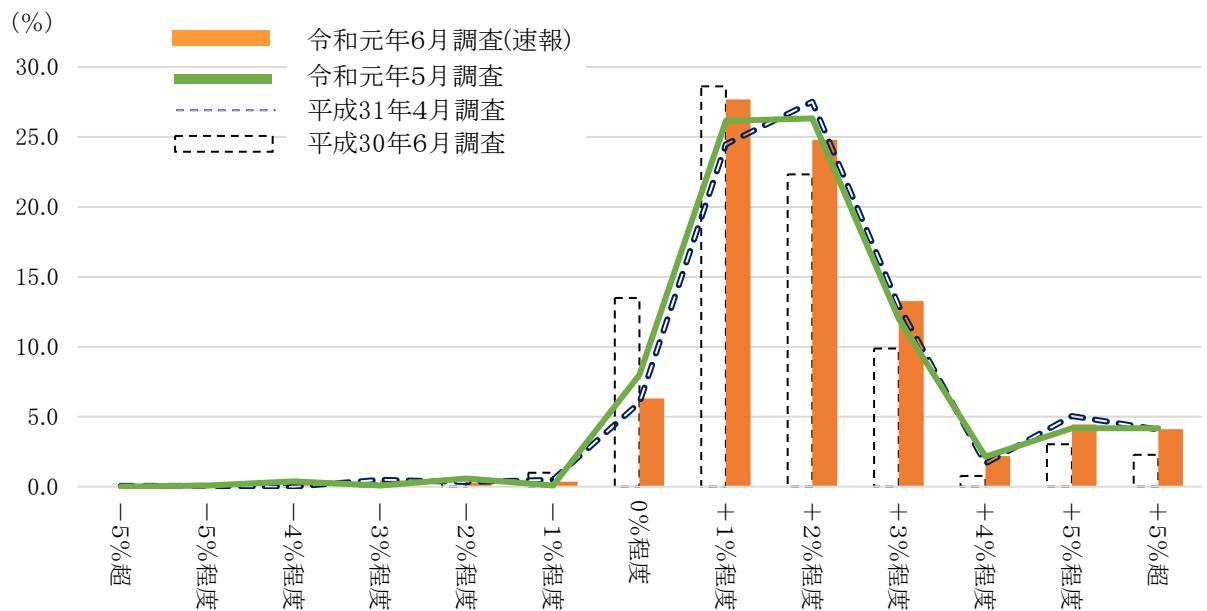
なし

## 【意識調査結果】

＜1年後の物価の見通しと期待物価上昇率＞

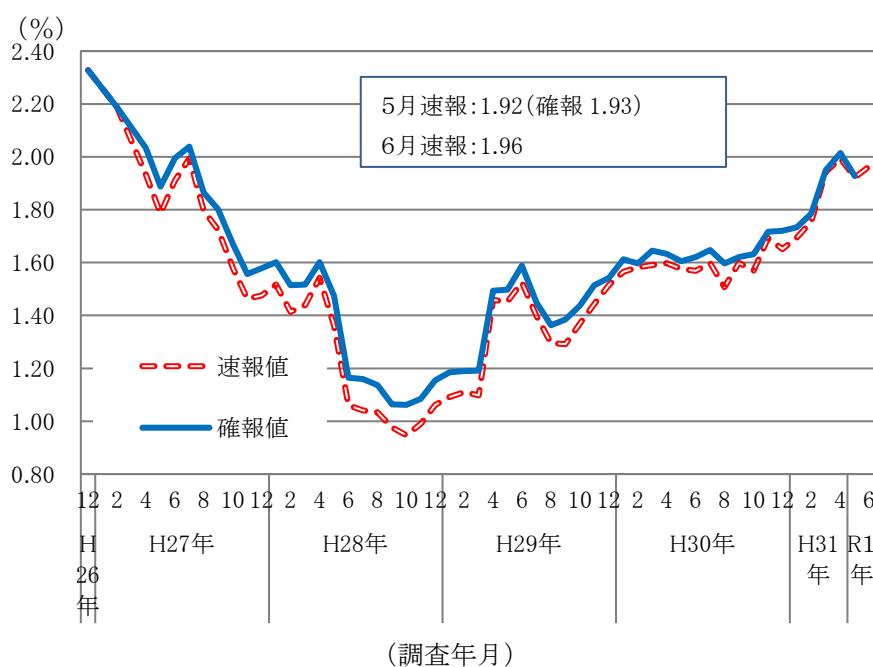
### 【1年後の物価の見通し(現在の水準と比較した変化率)】

(6月中央値=+1%程度～+2%程度)



### 【物価モニターが予想する期待物価上昇率】

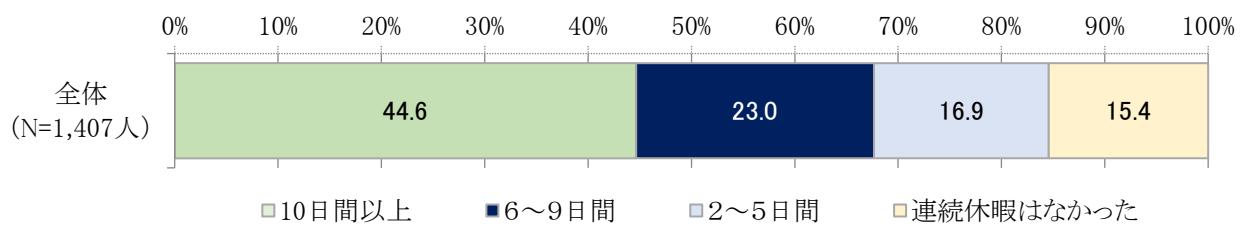
(回答者の割合)



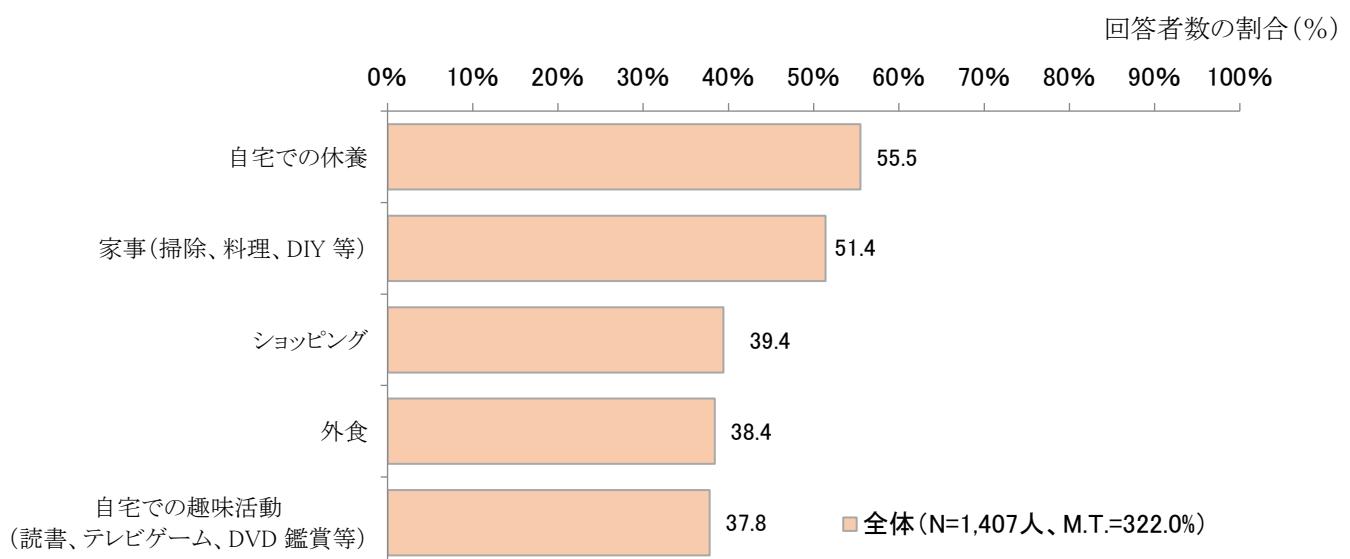
(備考)

- 「-5%超」、「-5%程度」は-5%、「-4%程度」は-4%、「-3%程度」は-3%、「-2%程度」は-2%、「-1%程度」は-1%、「+1%程度」は+1%、「+2%程度」は+2%、「+3%程度」は+3%、「+4%程度」は+4%、「+5%程度」、「+5%超」は+5%のインフレ率をそれぞれ予想しているとして計算。
- 平成27年1月と3月については、物価モニター調査は行っていない。

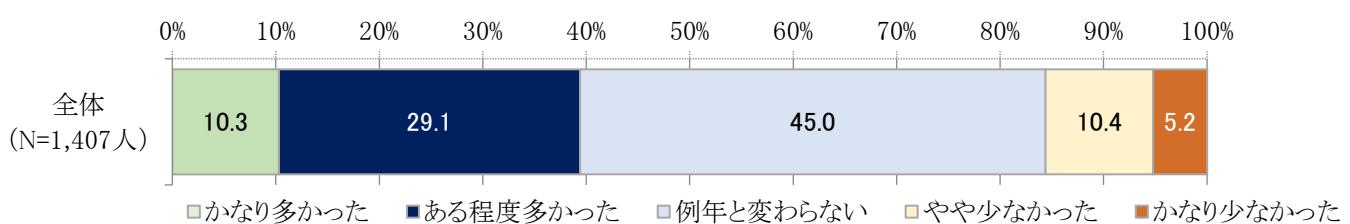
① 今年のゴールデンウィーク期間中にどの程度連続した休みがあったか



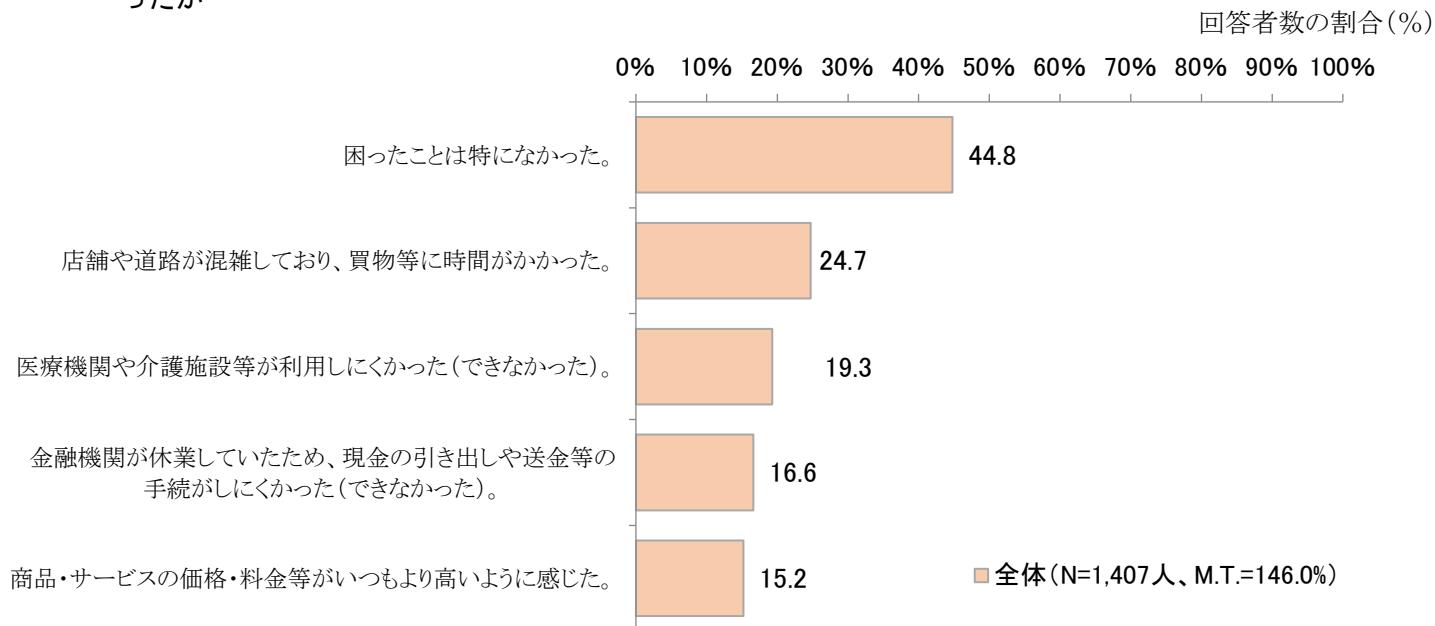
② 今年のゴールデンウィーク期間中における主な過ごし方



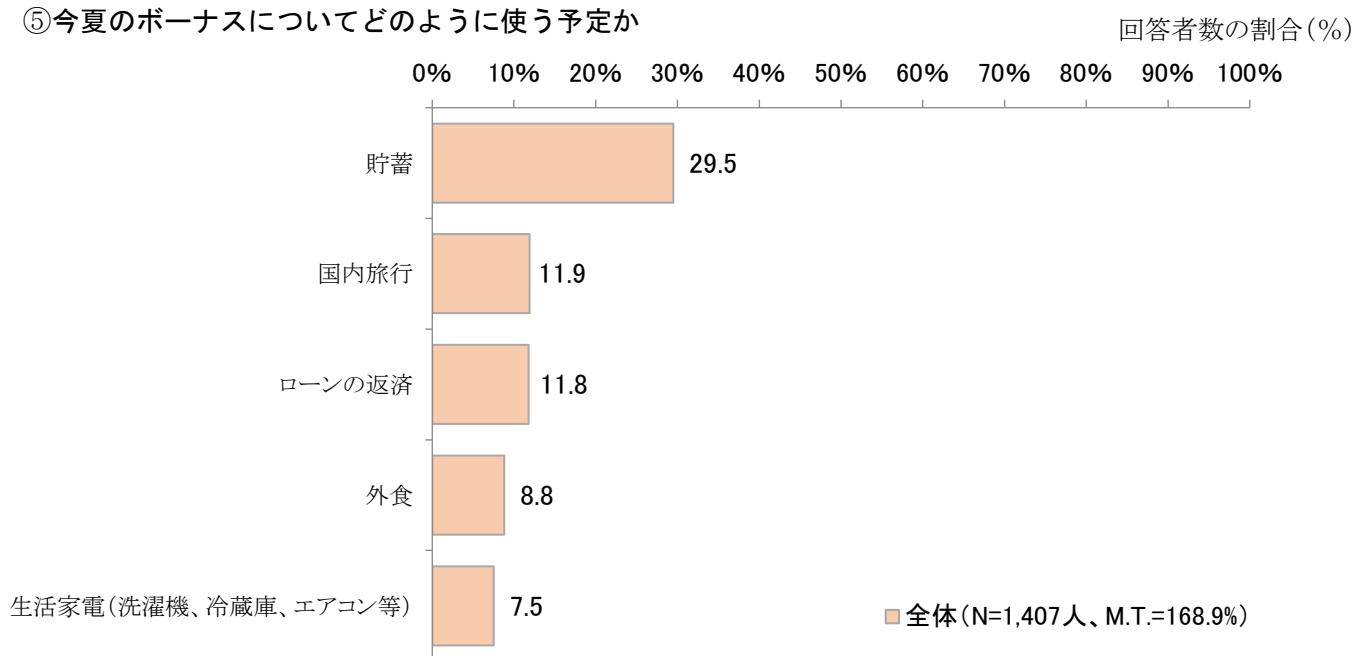
③ 例年と比較したときの、今年のゴールデンウィーク期間中における家庭の支出



④ 今年のゴールデンウィーク期間が例年より長かったことにより、消費生活等の面で困ったことはあつたか



⑤今夏のボーナスについてどのように使う予定か



注1) ②、④、⑤は回答が多かった選択肢のみ記載。詳細はP8～15を参照。

注2) M.T.(Multiple Totalの略)は、回答数の合計を回答者数(N)で割った比率。

本件に関する問合せ先

消費者庁 消費者調査課 栗田、小八木

(03-3507-9179)

## 調査結果データ

### 1. 價格調査結果

#### (1) 食料品

品目	食パン	生中華麺	カップ麺	ソーセージ	豚肉 (ロース)	豆腐	牛乳	ヨーグルト	卵
前月比(%)	0.4	0.6	4.0	0.0	1.0	-0.1	0.2	0.0	-0.7
指数	118.1	114.9	129.0	111.3	122.3	108.8	111.6	116.7	100.9
前年比(%)	4.5	4.9	10.3	2.7	6.5	2.5	5.5	6.9	0.1

品目	茶飲料	果実飲料	ポテト チップス	アイス クリーム	食用油	からあげ 弁当	冷凍 コロッケ	おにぎり	*ビール
前月比(%)	-0.1	0.3	2.9	1.8	0.5	0.1	0.3	0.5	0.1
指数	103.8	118.0	119.4	117.1	125.2	103.5	90.3	111.8	106.4
前年比(%)	1.2	2.9	4.6	8.8	4.7	0.9	-2.5	3.0	0.1

#### (2) 日用・家事用品

品目	*洗濯用 洗剤	ティッシュ ペーパー	紙おむつ	シャンプー
前月比(%)	0.2	1.7	0.2	-0.0
指数	113.7	121.3	105.3	108.4
前年比(%)	6.9	8.5	1.8	2.4

#### (3) サービス

品目	*洗濯代	理髪代又 はカット代	中華そば
前月比(%)	0.2	0.2	0.0
指数	102.3	102.0	103.1
前年比(%)	1.2	1.0	0.9

#### (備考)

指数は、平成 27 年 4 月の税抜平均価格を 100 として、調査時点の税抜平均価格を指数化したもの。

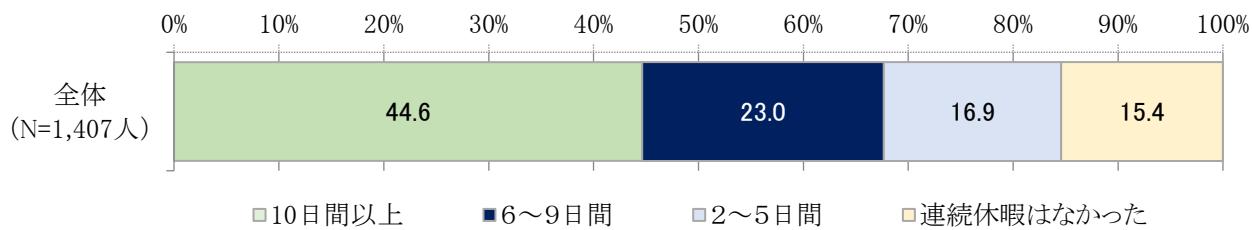
\*ビールは、平成 28 年 4 月の税抜平均価格を 100 として指数化。洗濯用洗剤と洗濯代は平成 29 年 4 月の税抜平均価格を 100 として指数化。

## 2. 意識調査結果

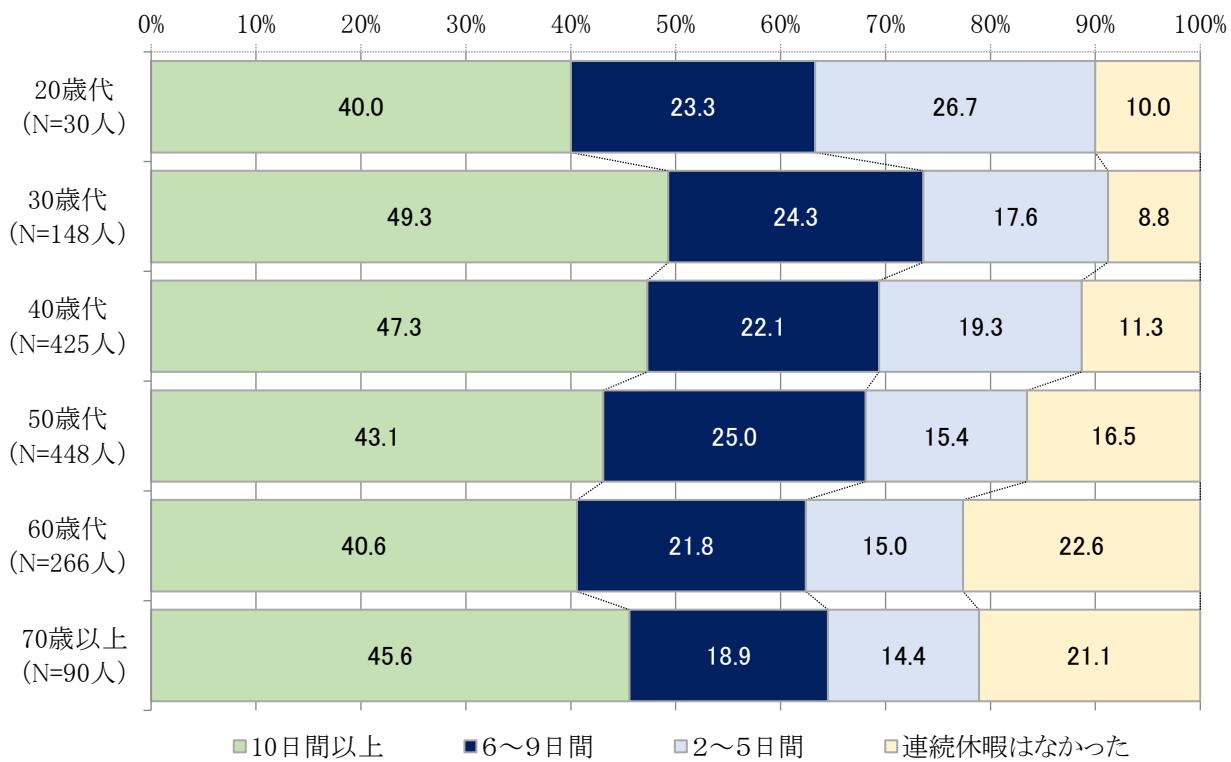
問1 あなたは今年のゴールデンウィーク期間中にどの程度連続したお休みがありましたか。

当てはまるものを1つ選んでください。

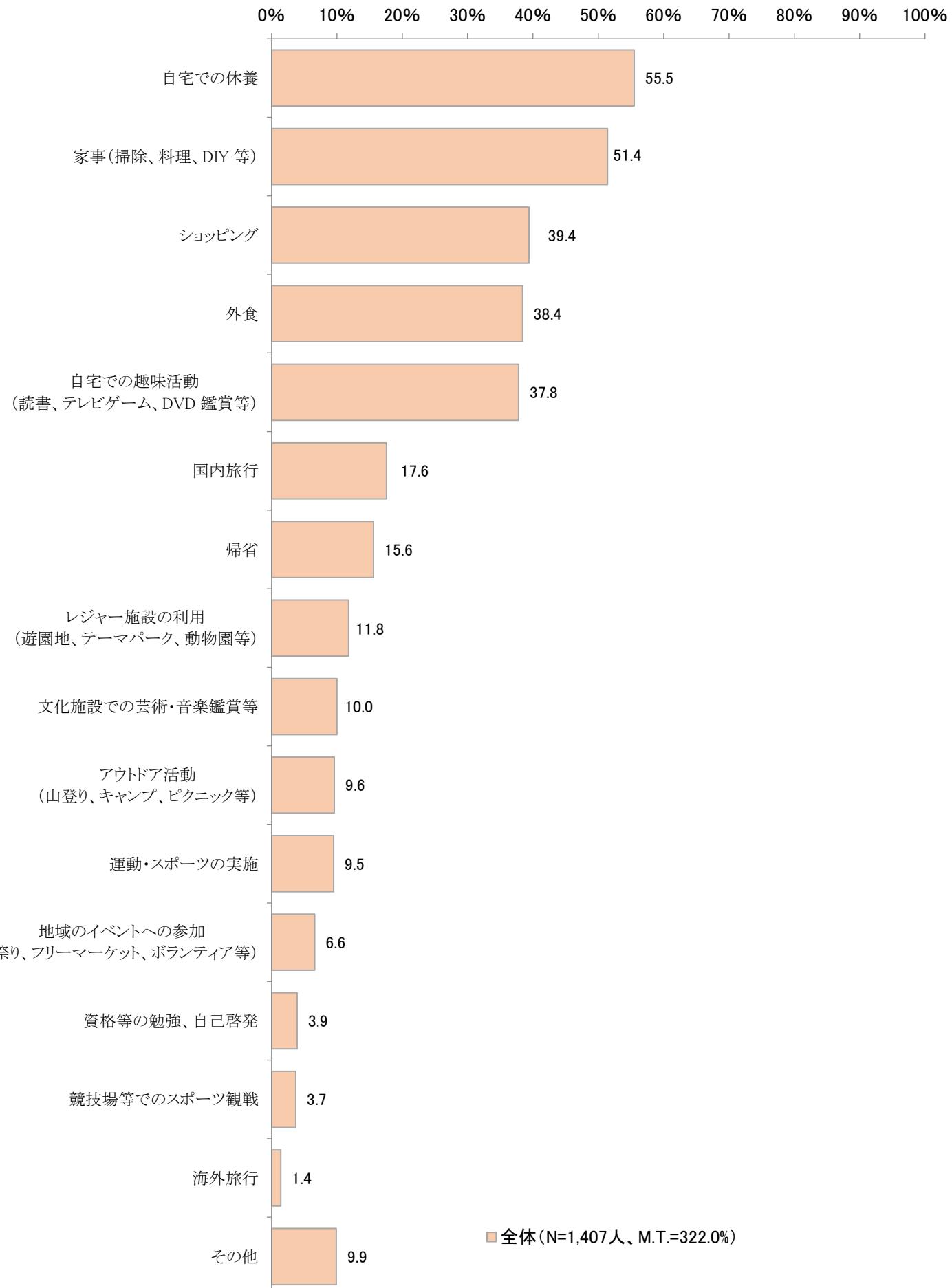
※お勤め先に勤務していない方については、ご家族(両親や配偶者等)の休暇についてお答えください。



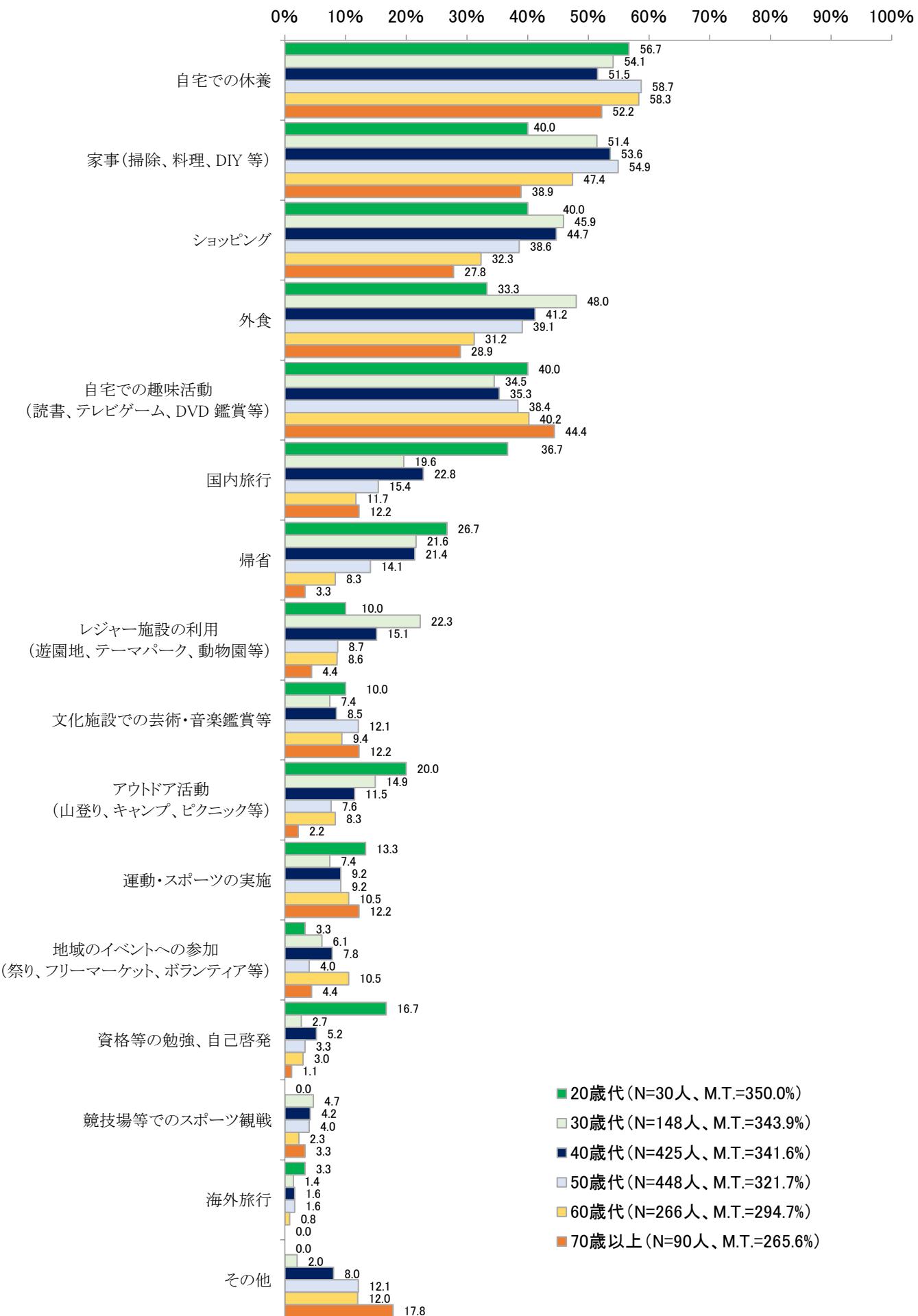
### ＜(参考)年代別＞



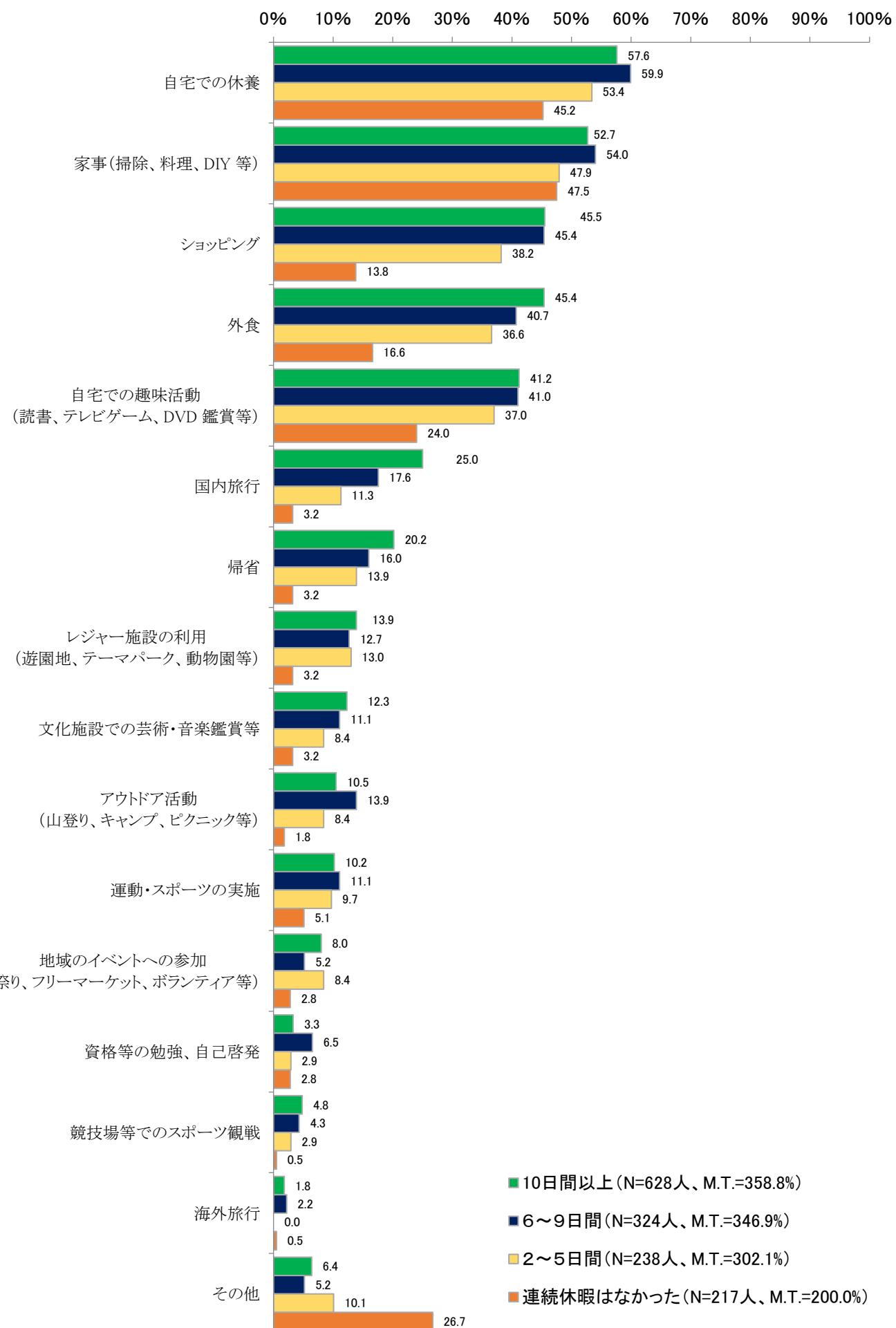
問2 今年のゴールデンウィーク期間中におけるあなたの主な過ごし方について、当てはまるものをいくつでも選んでください。



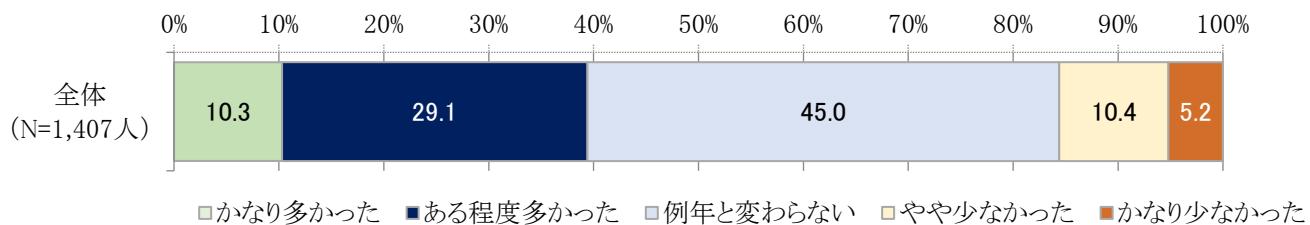
## <(参考)年代別>



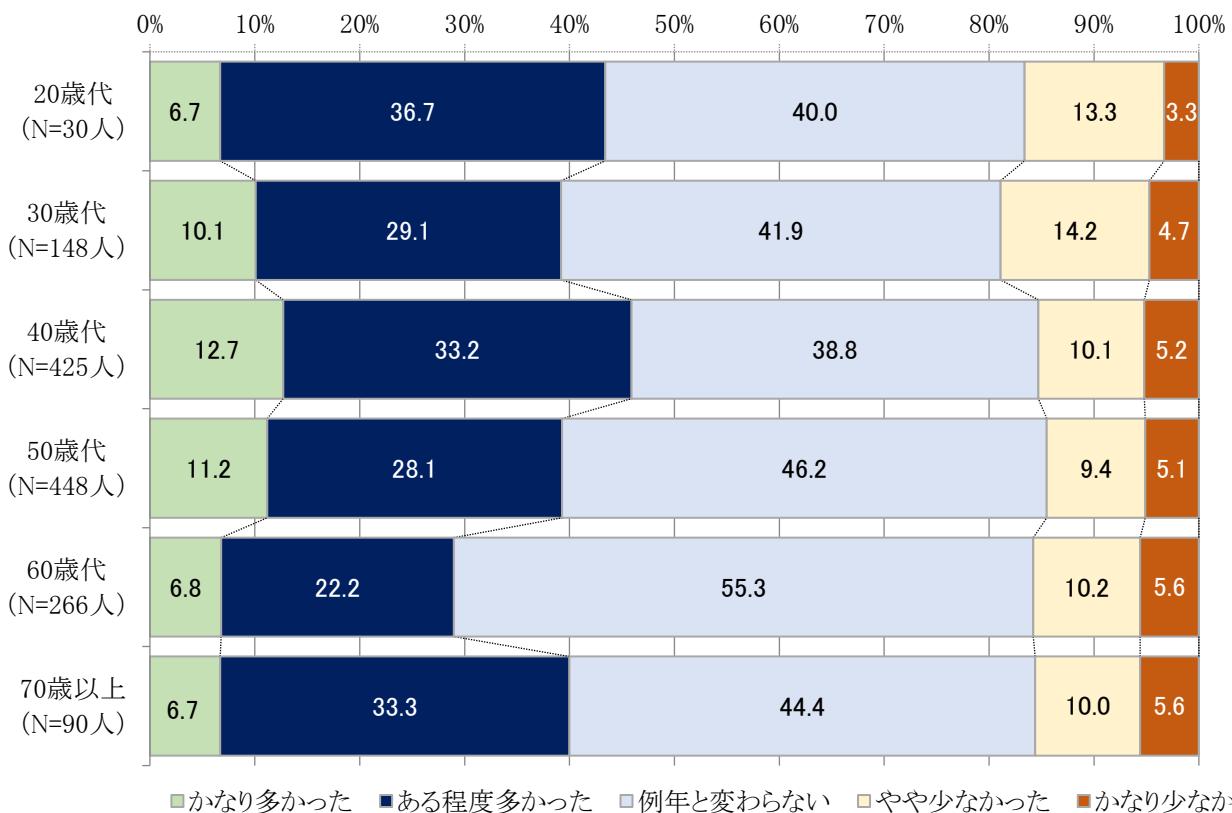
＜(参考)ゴールデンウィーク期間中の休みの長さ別＞



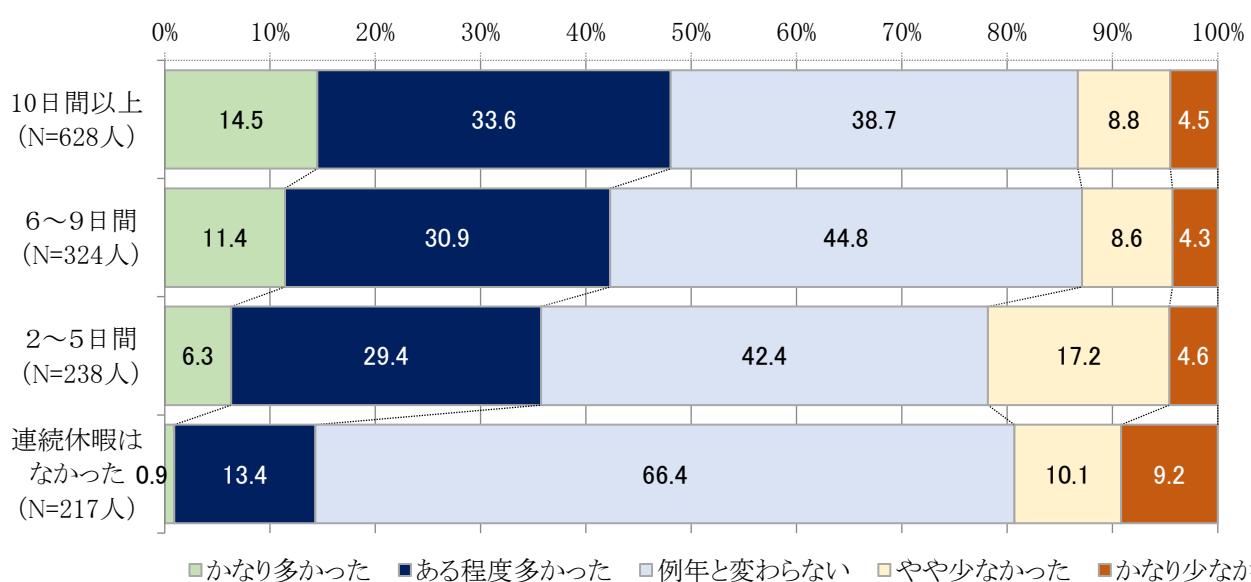
問3 今年のゴールデンウィーク期間中におけるあなたのご家庭の支出は、例年と比べてどうでしたか。  
当てはまるものを1つ選んでください。



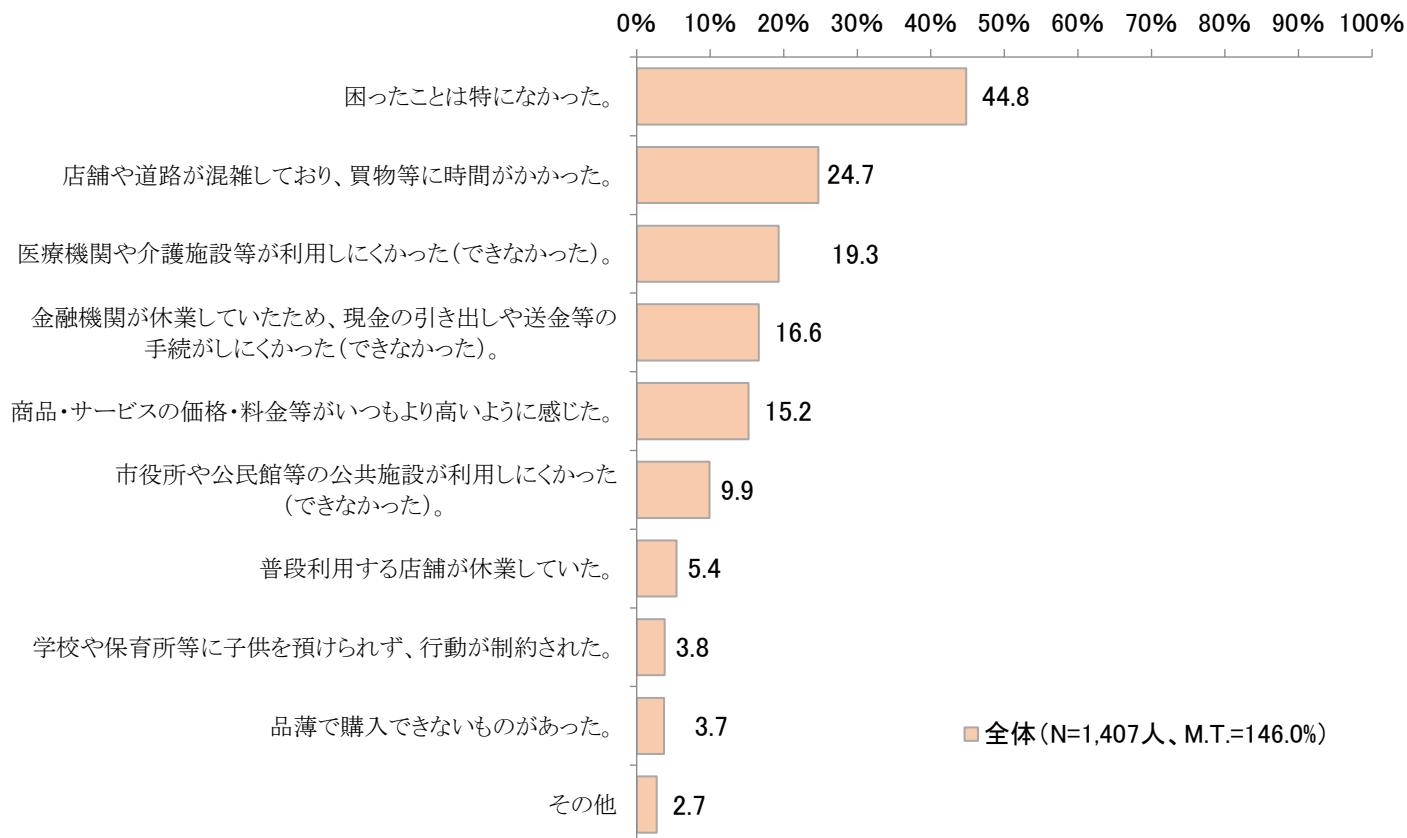
#### <(参考)年代別>



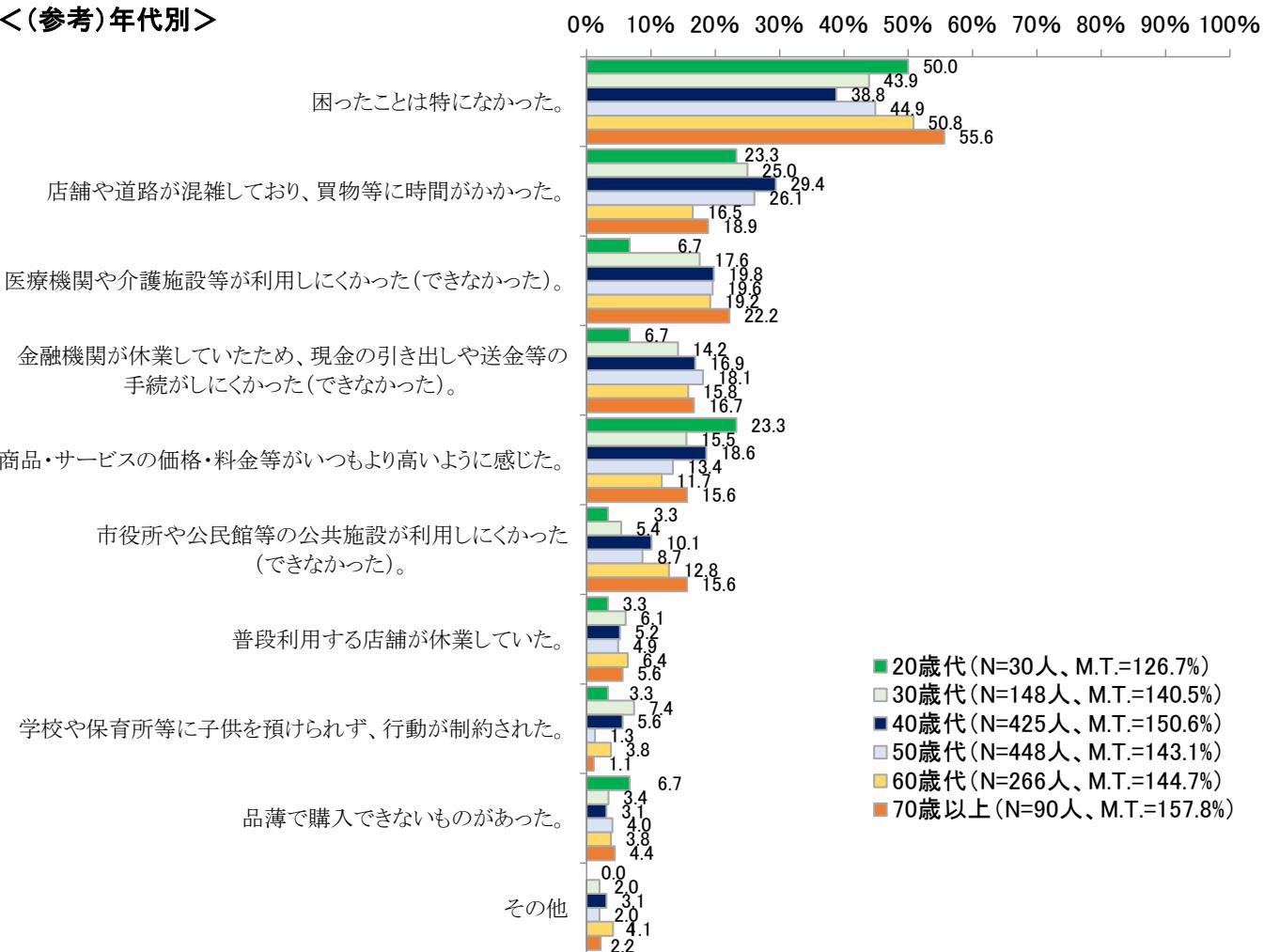
#### <(参考)ゴールデンウィーク期間中の休みの長さ別>



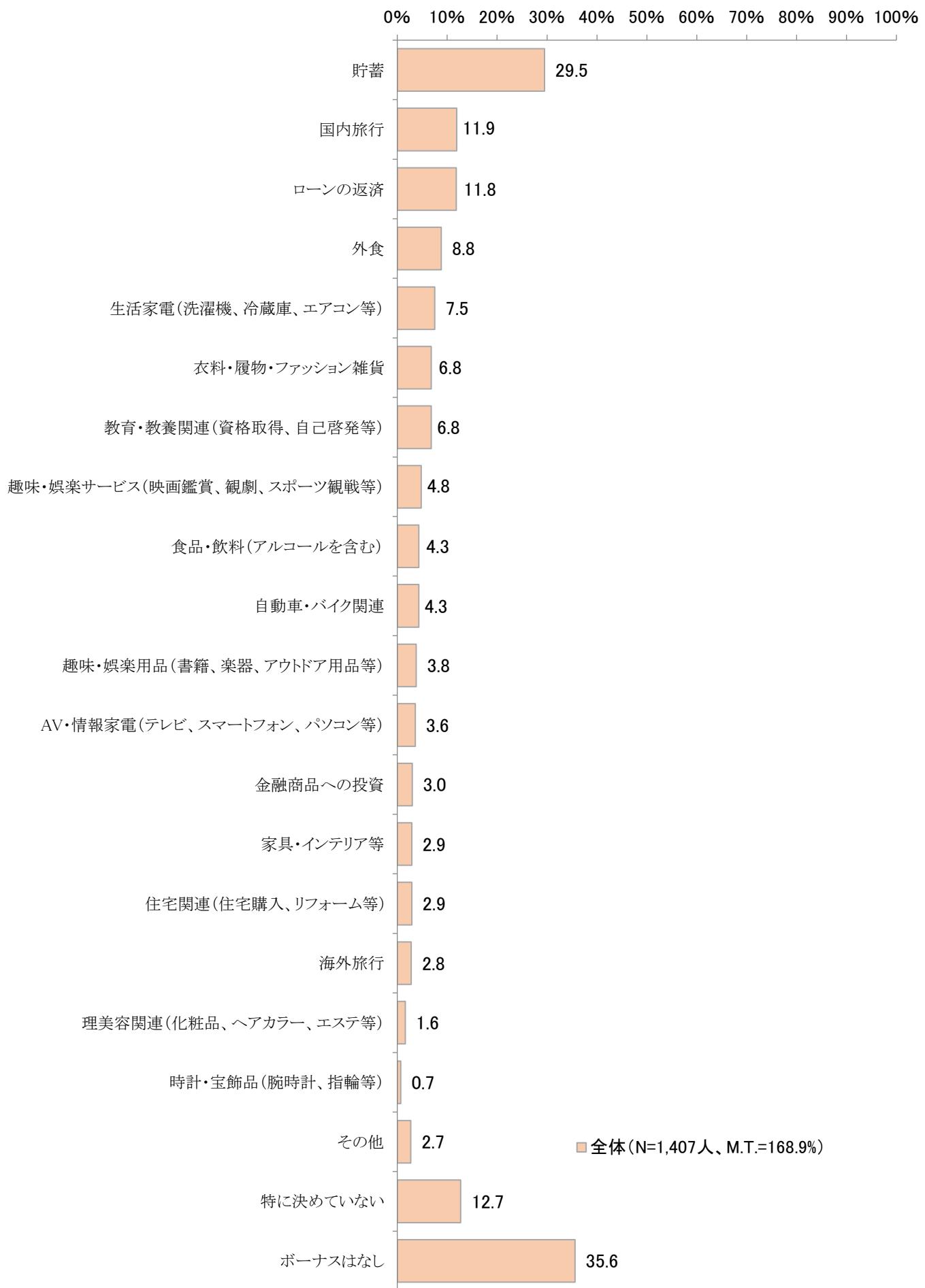
問4 今年のゴールデンウィーク期間が例年より長かったことにより、消費生活等の面で困ったことはありましたか。  
当てはまるものをいくつでも選んでください。



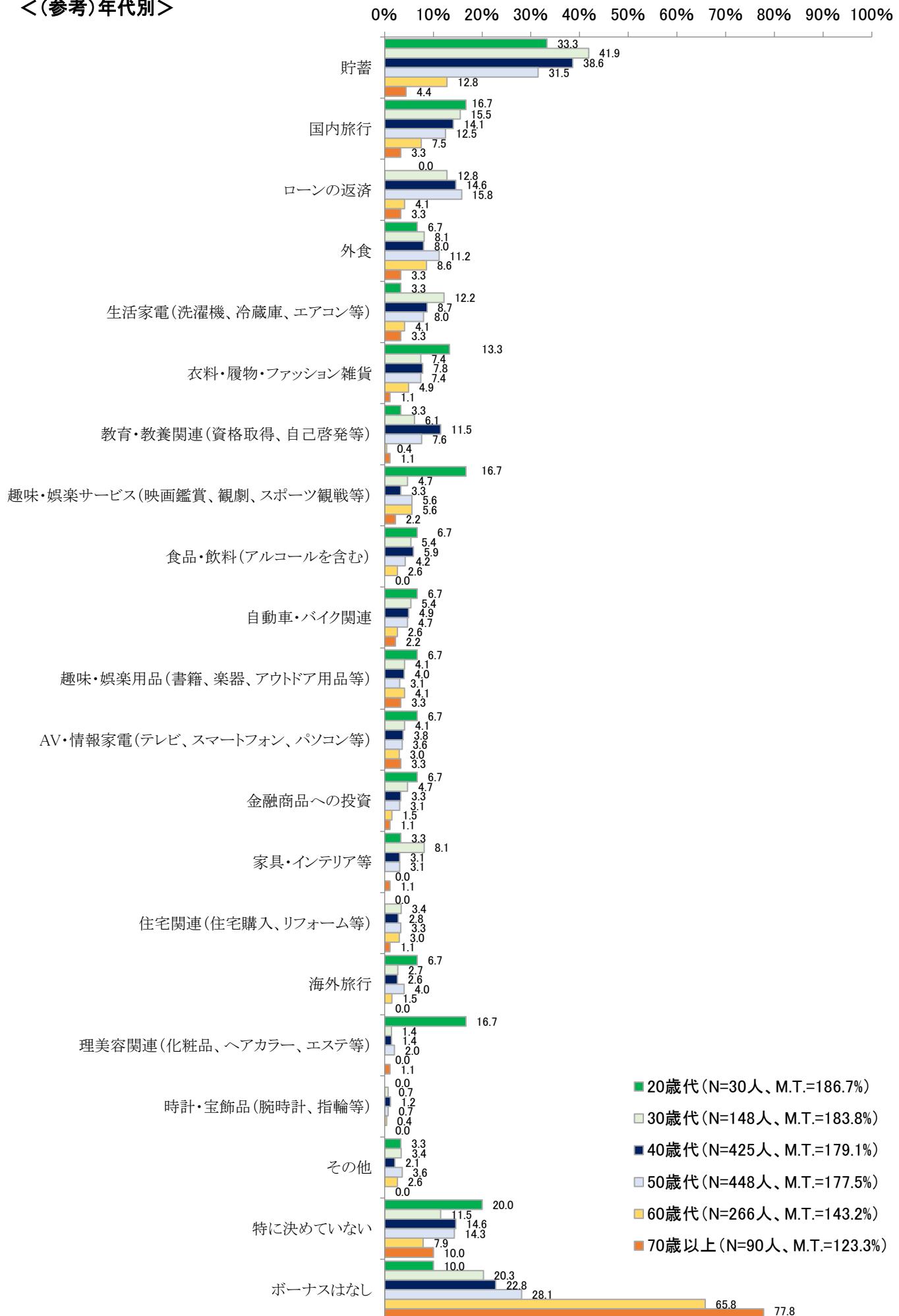
＜(参考)年代別＞



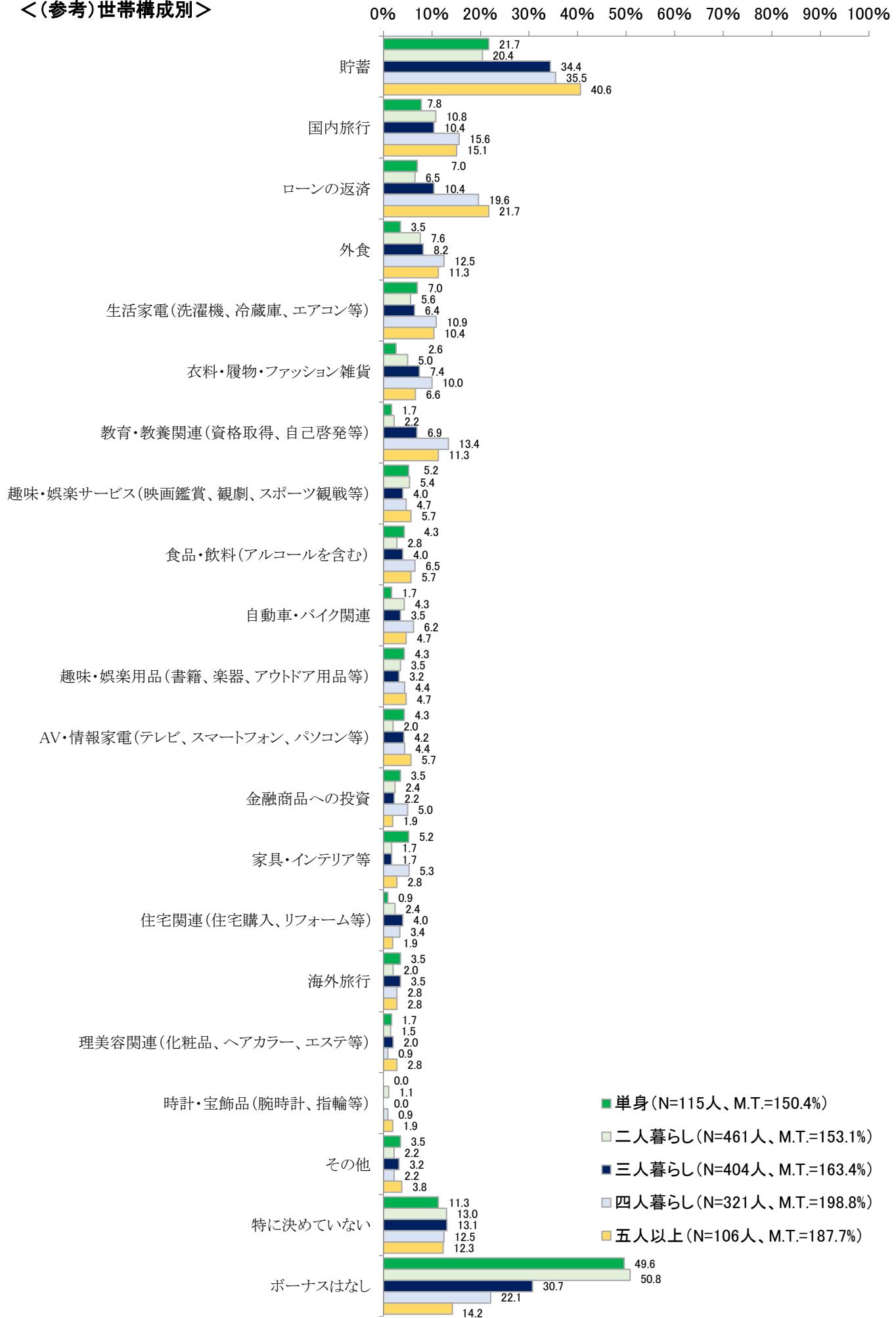
問5 ボーナス(賞与)の使い道についてお伺いします。あなたは今夏のボーナスについてどのように使う予定ですか。当てはまるものをいくつでも選んでください。



## <(参考)年代別>



## <(参考)世帯構成別>



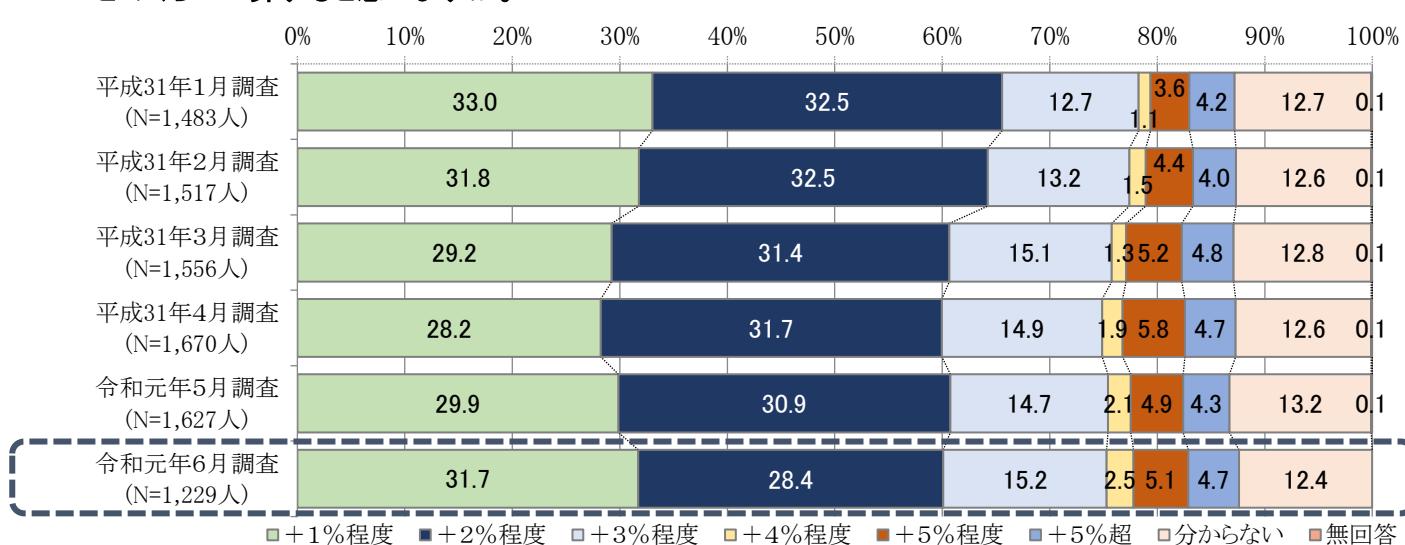
問6 あなたが普段購入している生活関連物資全般の価格は、現時点と比べて1年後には、上昇すると思いますか、下落すると思いますか。1つ選んでください。

(参考)消費者物価指数は、前年比0.5%増となっています(平成31年3月時点)。



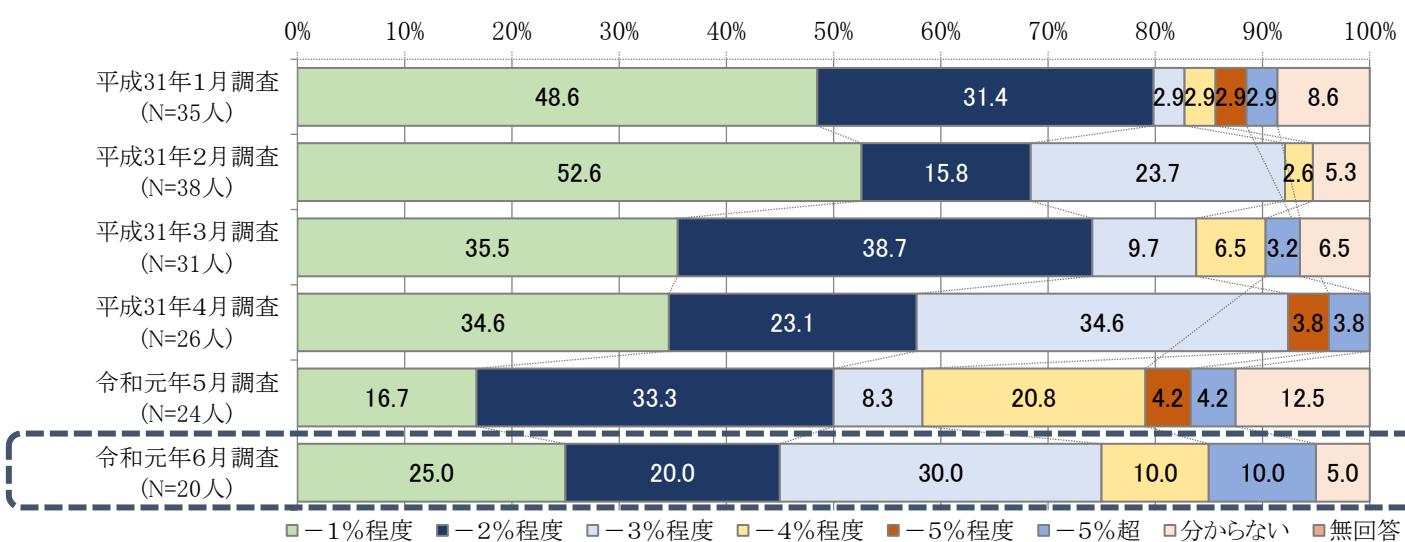
問7 (問6で「上昇すると思う」を選んだ方がお答えください。)

どのくらい上昇すると思いますか。



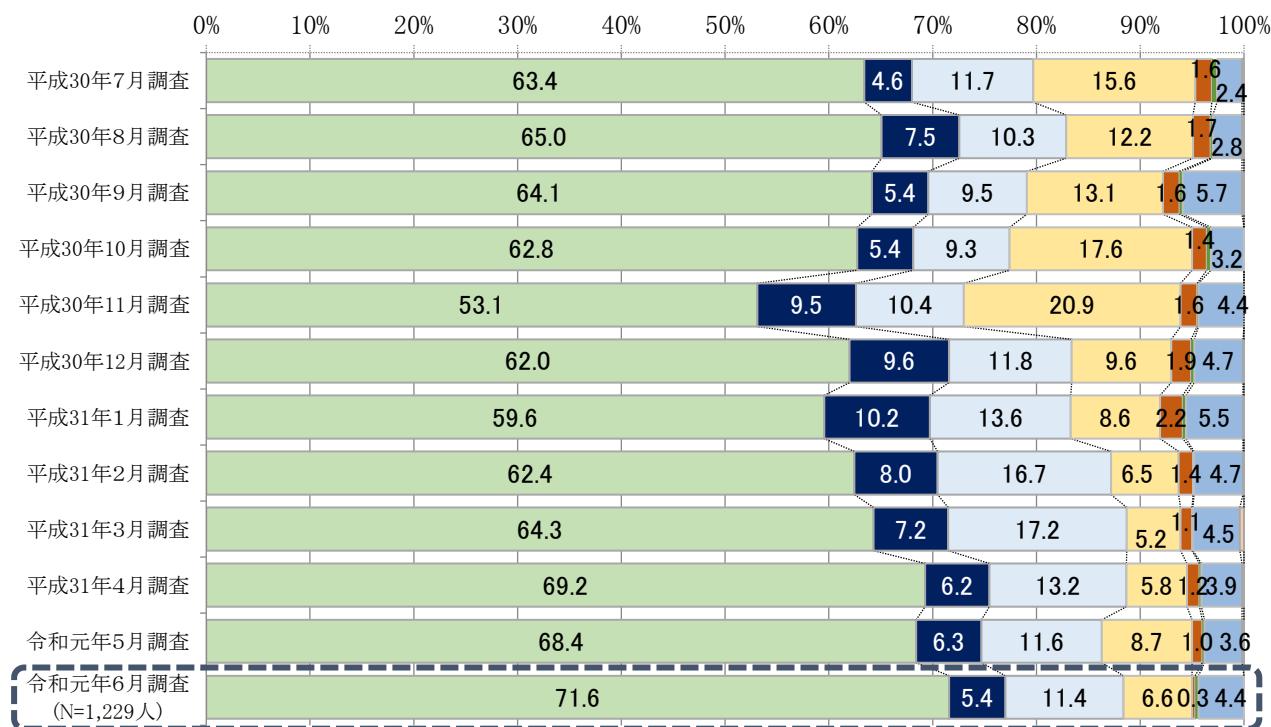
問8 (問6で「下落すると思う」を選んだ方がお答えください。)

どのくらい下落すると思いますか。



問9 問6で回答した理由は、以下のいずれでしょうか。1つ選んでください。

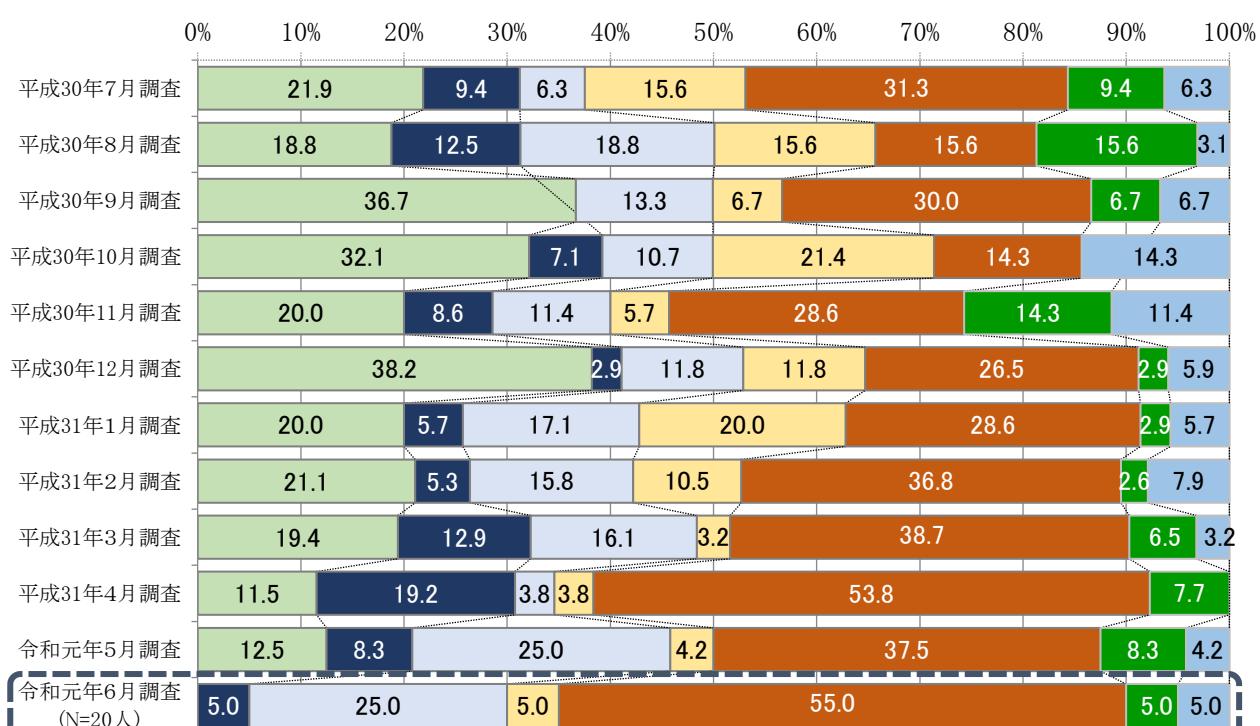
(上昇すると回答した方)



- 身近な商品の価格が過去数か月において上昇しており、その傾向が続くと思うから
- 政府・日本銀行の発表を受けて
- 報道等(民間エコノミスト等専門家の予想)でそのような話題を見かけるから
- 原油価格や為替等の変動を受けて
- 景気が良くなると感じるから
- 収入が増えると思うから
- その他
- 無回答

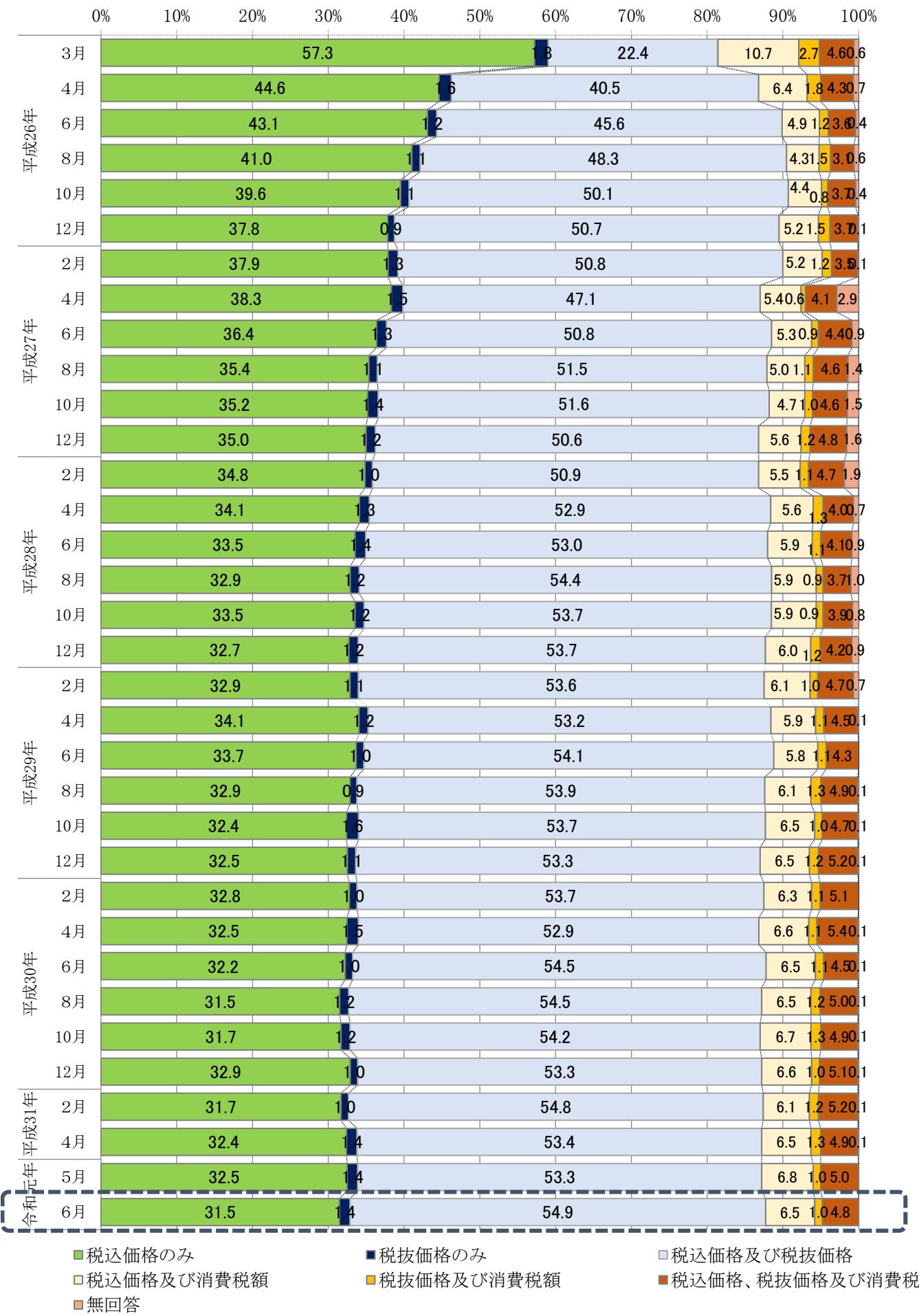
※「収入が増えると思うから」及び「無回答」の割合は、いずれも1%未満であるため、データラベルは非表示

(下落すると回答した方)



- 身近な商品の価格が過去数か月において下落しており、その傾向が続くと思うから
- 政府・日本銀行の発表を受けて
- 報道等(民間エコノミスト等専門家の予想)でそのような話題を見かけるから
- 原油価格や為替等の変動を受けて
- 景気が悪くなると感じるから
- 収入が減ると思うから
- その他
- 無回答

問10 あなたにとって、店頭価格の表示方法のうち、最も適当と思うものは、以下のいずれでしょうか。  
1つ選んでください。



■税込価格のみ

□税込価格及び消費税額

■無回答

■税抜価格のみ

□税抜価格及び消費税額

□税込価格及び税抜価格

■税込価格、税抜価格及び消費税額

#### (参考1)品目グループ別の店頭表示価格の表示方法



■税込価格のみ

#### ■ 税込価格及び消費税額

### ■価格が表示されていない

## ■税抜価格のみ

#### ■税抜価格及び消費税額

#### ■税込価格及び税抜価格

#### ■税込価格、税抜価格及び消費税額

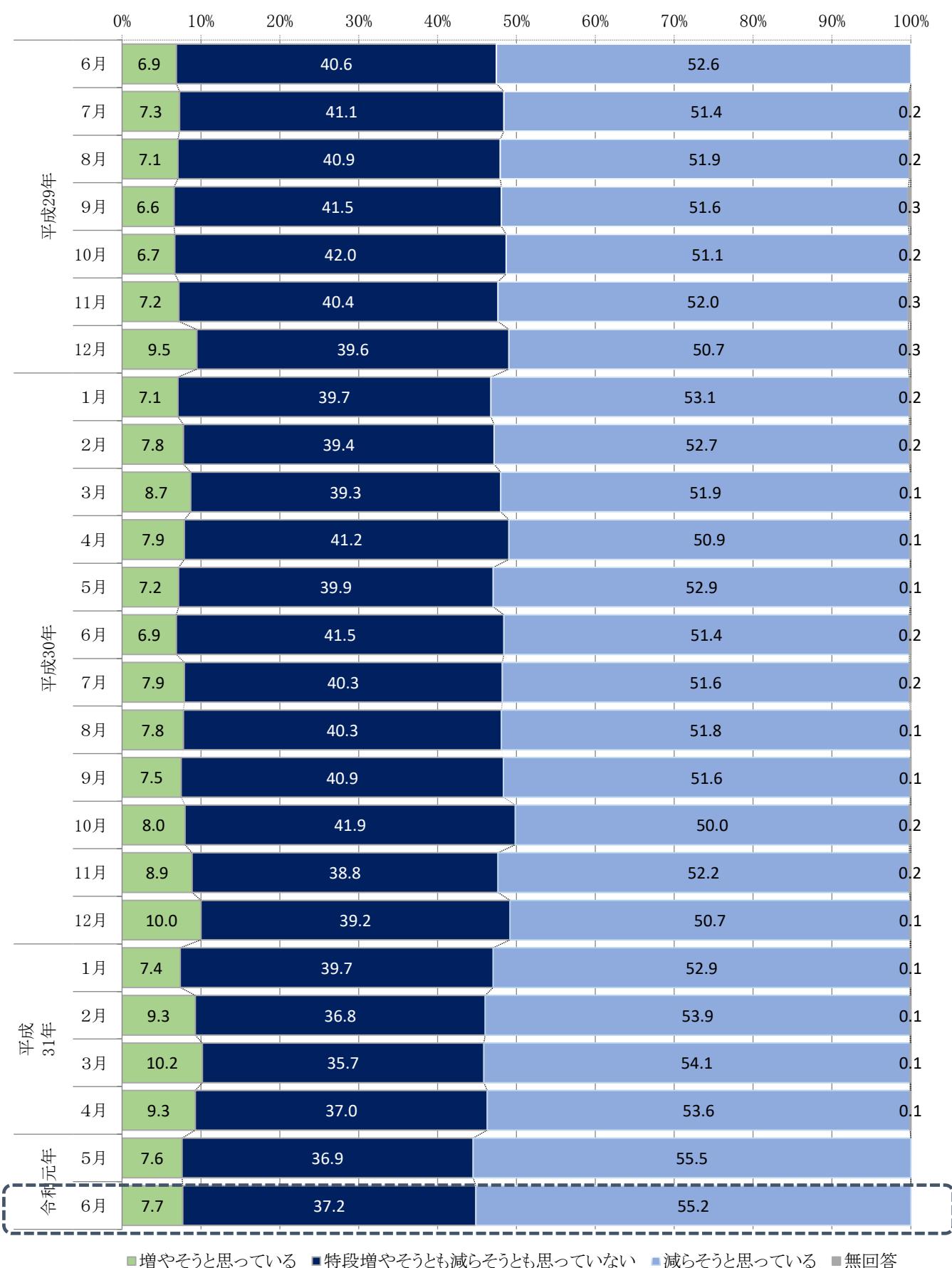
■価格が表示されていないので、店員等に聞いた  
注1)平成27年4月調査より、食料品を3品目、サービスを2品目に入れ替えた注2)データラベルを表示しているのは「税抜価格のみ」、「税抜価格のみ」

注2) テーブルを表示しているのは「税込価格のみ」、「税抜価格のみ」。

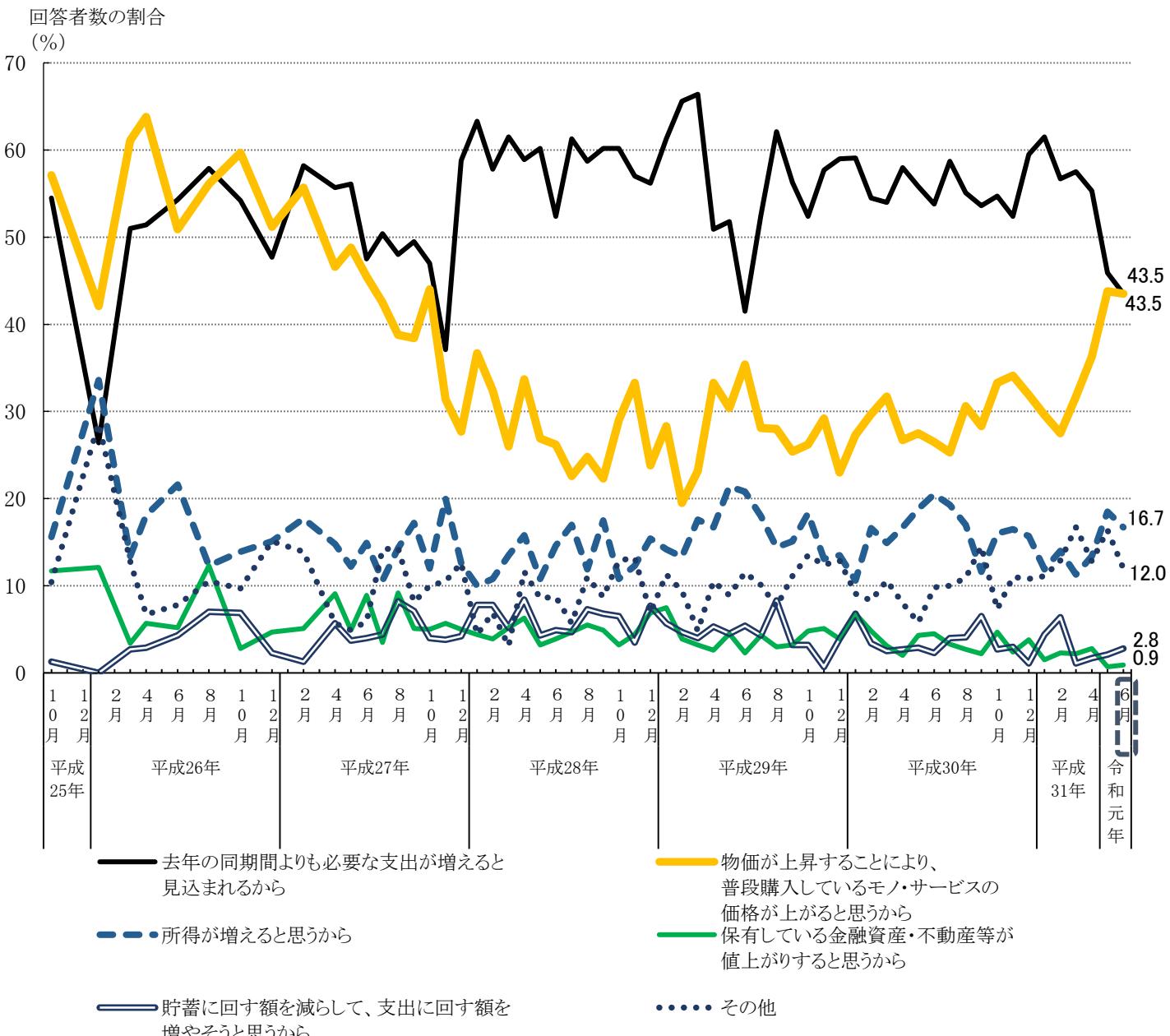
19

## (参考2)消費についての意識

問1 あなたの世帯の消費への支出額を、今後3か月の間について、去年の同期間と比べて、どのようにしていこうと思っていますか。1つ選んでください。



問2 (問1で「増やそうと思っている」を選んだ方がお答えください。)  
その理由は以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。

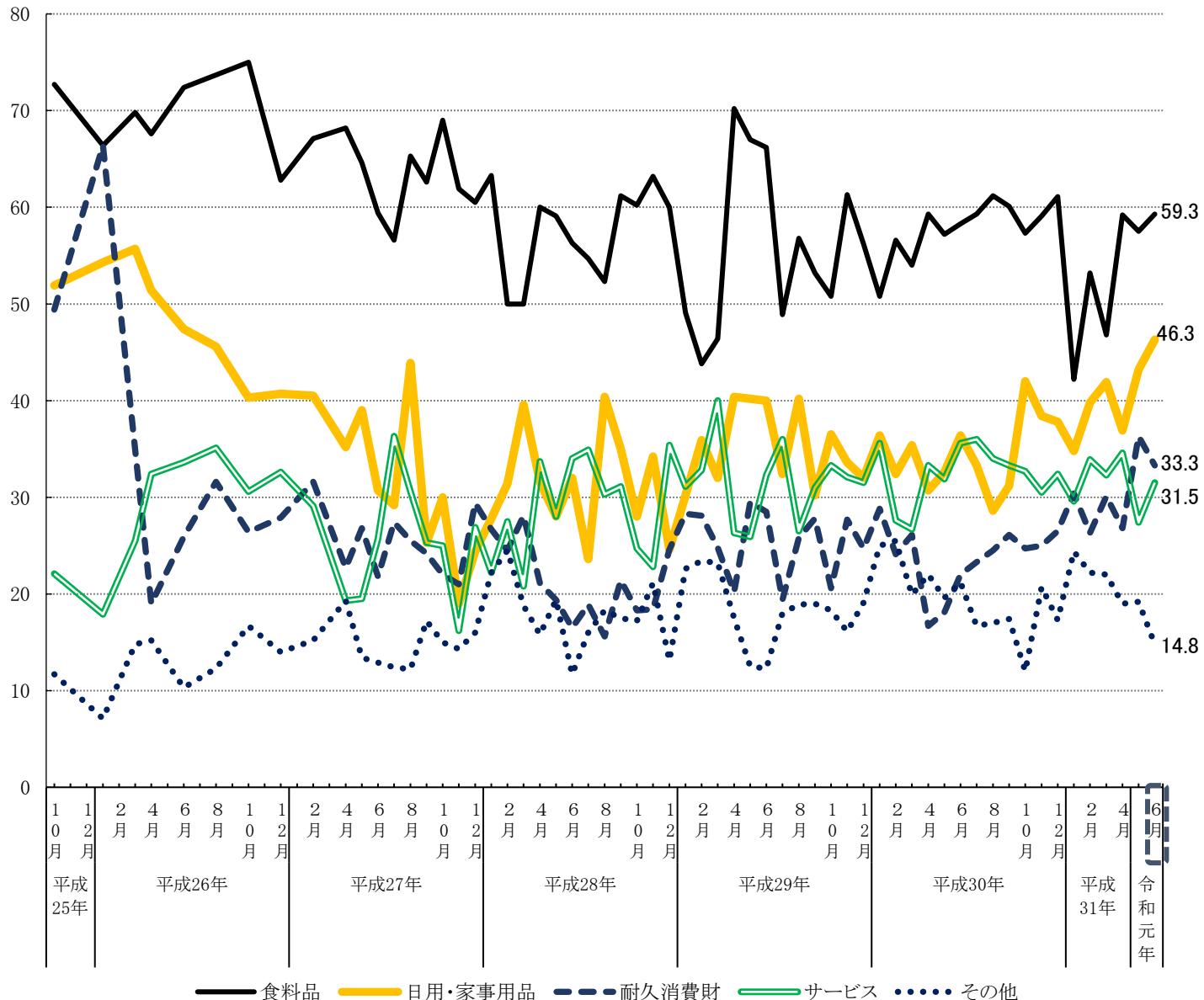


(注)各調査の回答者数(N)・M.T.(Multiple Totalの略・回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり

問3 (問1で「増やそうと思っている」を選んだ方がお答えください。)

消費を増やそうと思っているのは、以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。

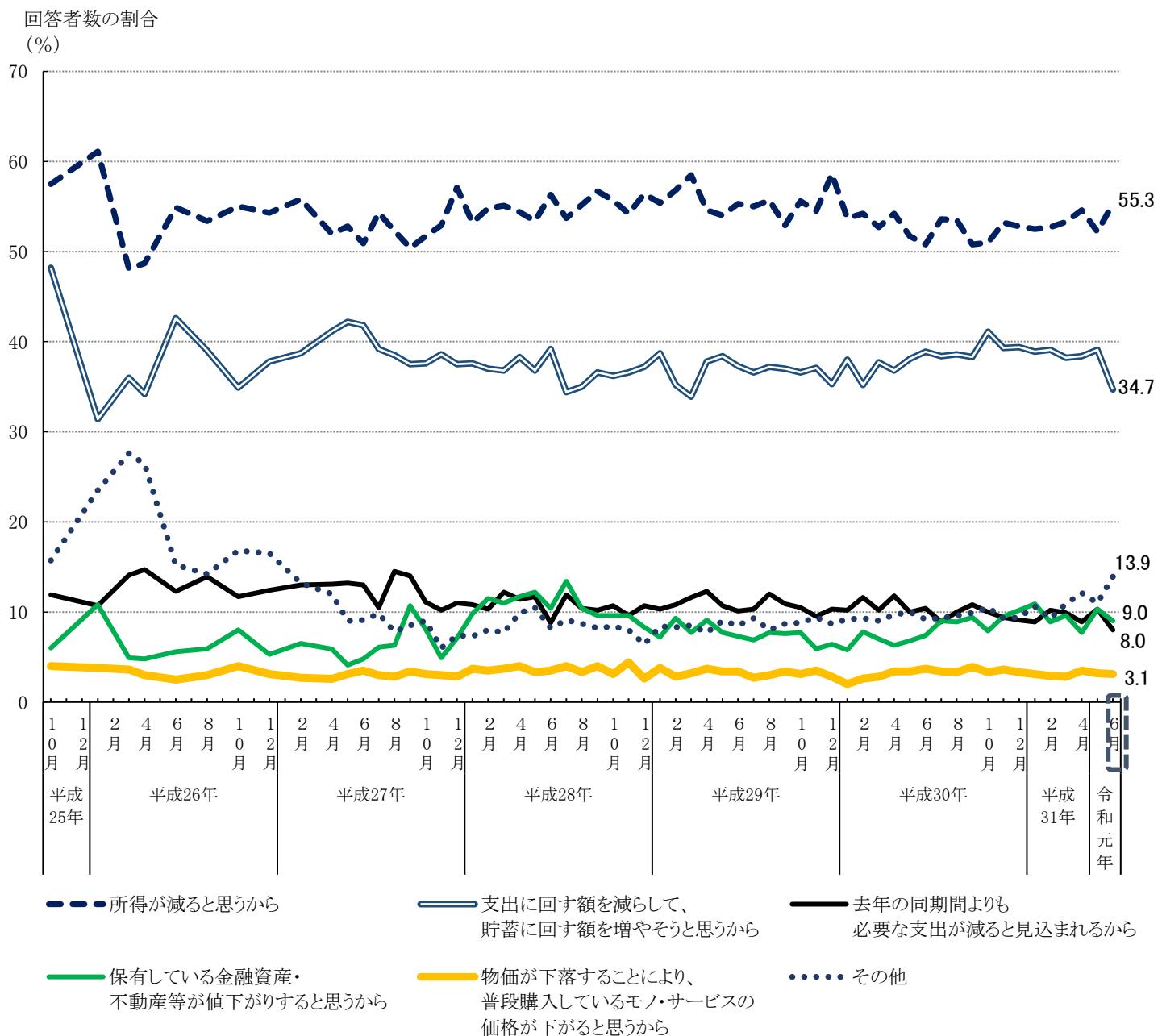
回答者数の割合  
(%)



(注)各調査の回答者数(N)、M.T.(Multiple Total)の略:回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり。

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成25年度	回答者数(人)	-	-	-	-	-	-	77	-	-	140	-	149
	M.T. (%)	-	-	-	-	-	-	209.1	-	-	215.7	-	204.7
平成26年度	回答者数(人)	105	-	116	-	57	-	72	-	86	-	79	-
	M.T. (%)	192.4	-	192.2	-	201.8	-	193.1	-	182.6	-	187.3	-
平成27年度	回答者数(人)	88	82	101	113	98	99	100	105	119	90	102	96
	M.T. (%)	169.3	163.4	150.5	161.9	177.6	154.5	161.0	132.4	157.1	162.2	157.8	157.3
平成28年度	回答者数(人)	95	93	103	106	109	103	93	114	130	106	128	125
	M.T. (%)	162.2	153.9	150.5	148.1	156.9	166.2	148.4	159.6	159.2	161.3	164.0	166.4
平成29年度	回答者数(人)	114	112	130	139	132	126	126	137	178	132	145	161
	M.T. (%)	175.5	177.8	180.0	159.0	169.7	163.5	160.3	171.5	164.0	176.5	166.9	164.6
平成30年度	回答者数(人)	150	138	132	150	147	138	150	164	185	135	171	186
	M.T. (%)	163.3	162.3	175.8	170.0	166.0	168.8	170.0	174.4	177.3	163.0	176.6	175.8
令和元年度	回答者数(人)	179	146	108									
	M.T. (%)	177.1	184.9	185.2									

問4 (問1で「減らそうと思っている」を選んだ方がお答えください。)  
 その理由は以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。



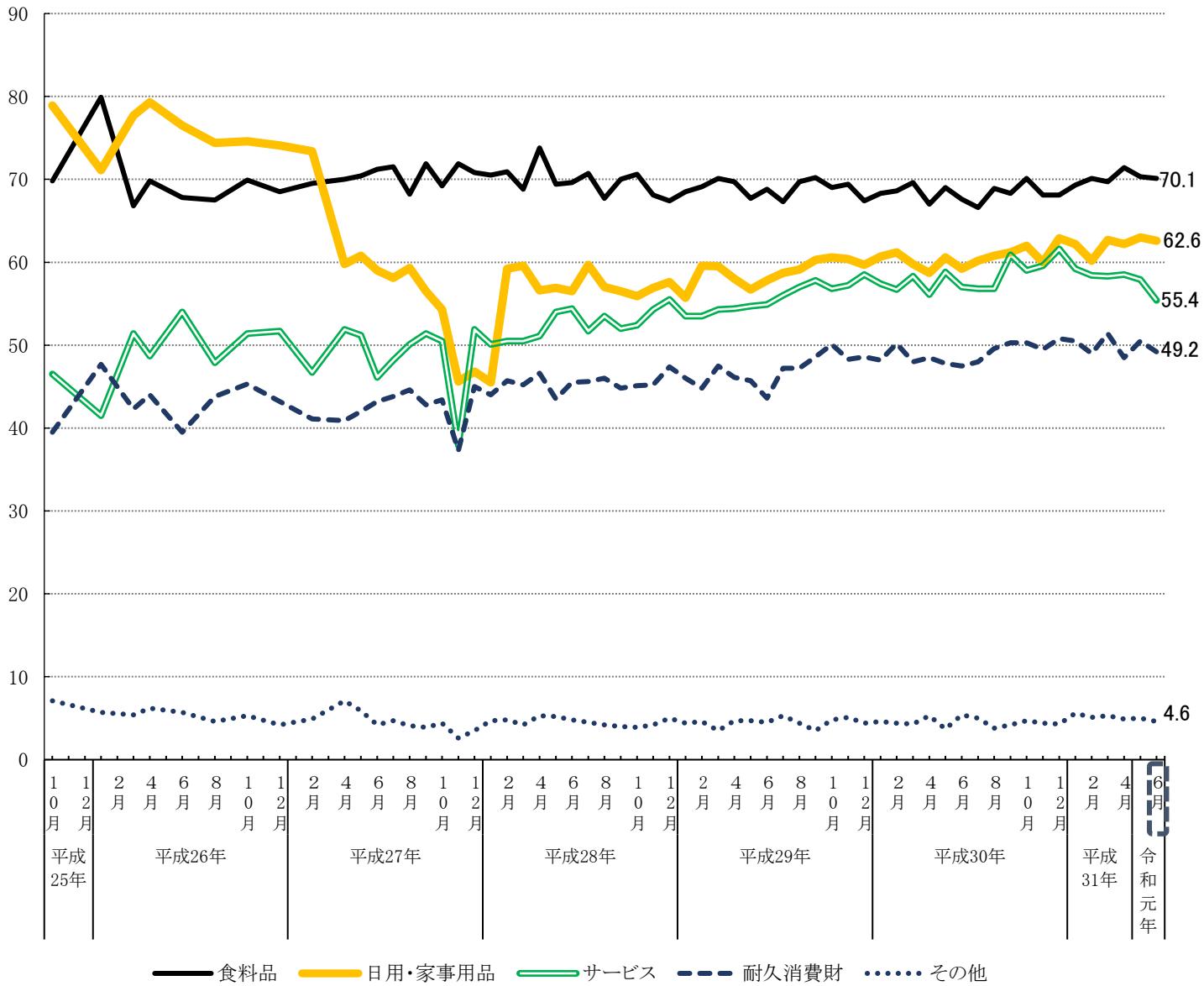
(注) 各調査の回答者数(N)、M.T.(Multiple Totalの略:回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり。

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成25年度	回答者数(人)	-	-	-	-	-	-	798	-	-	740	-	1,453
	M.T. (%)	-	-	-	-	-	-	143.5	-	-	141.4	-	134.5
平成26年度	回答者数(人)	1,654	-	1,343	-	769	-	828	-	807	-	771	-
	M.T. (%)	131.8	-	133.4	-	129.6	-	130.4	-	129.7	-	129.8	-
平成27年度	回答者数(人)	933	909	952	906	868	913	877	944	949	992	991	1,008
	M.T. (%)	127.1	124.4	123.2	122.8	122.2	124.5	120.5	115.5	122.9	122.4	125.1	126.5
平成28年度	回答者数(人)	957	978	1,032	994	944	966	942	972	955	978	981	964
	M.T. (%)	129.7	127.9	126.4	126.5	123.0	125.3	123.7	122.4	121.6	123.8	123.0	123.4
平成29年度	回答者数(人)	1,006	1,012	997	983	969	979	964	983	952	994	983	962
	M.T. (%)	125.2	123.3	122.0	121.1	123.6	120.4	122.5	120.2	122.4	119.0	120.8	119.4
平成30年度	回答者数(人)	972	1,010	985	975	973	953	939	965	939	970	995	990
	M.T. (%)	122.2	120.0	120.3	122.7	123.9	123.1	124.1	124.4	124.2	124.9	123.2	124.7
令和元年度	回答者数(人)	1,031	1,059	776									
	M.T. (%)	125.2	126.2	124.0									

問5 (問1で「減らそうと思っている」を選んだ方がお答えください。)

消費を減らそうと思っているのは、以下のいずれでしょうか。該当するものを全て選んでください。

回答者数の割合  
(%)



(注)各調査の回答者数(N)、M.T.(Multiple Totalの略:回答数の合計を回答者数(N)で割った比率)は以下のとおり。

### 3. 今回調査(速報)の回答者の属性

今回調査の回答者数:1,407人

#### ①性別

男性	485人 (34.5%)
女性	922人 (65.5%)

#### ②年齢

20～29歳	30人 (2.1%)
30～39歳	148人 (10.5%)
40～49歳	425人 (30.2%)
50～59歳	448人 (31.8%)
60～69歳	266人 (18.9%)
70歳以上	90人 (6.4%)

#### ③職業

正社員	404人 (28.7%)
正社員以外の被雇用者	381人 (27.1%)
会社、団体などの役員	13人 (0.9%)
自営業	59人 (4.2%)
専業の主婦・主夫	370人 (26.3%)
学生	8人 (0.6%)
無職	144人 (10.2%)
その他	28人 (2.0%)

#### ④居住地方

北海道	59人 (4.2%)
東北地方	98人 (7.0%)
関東地方	484人 (34.4%)
北陸甲信越地方	85人 (6.0%)
中部地方	169人 (12.0%)
近畿地方	221人 (15.7%)
中国地方	92人 (6.5%)
四国地方	44人 (3.1%)
九州・沖縄地方	155人 (11.0%)

#### ⑤居住形態

単身	115人 (8.2%)
二人暮らし	461人 (32.8%)
三人暮らし	404人 (28.7%)
四人暮らし	321人 (22.8%)
五人以上	106人 (7.5%)

#### ⑥世帯年収

300万円未満	205人 (14.6%)
300～500万円	379人 (26.9%)
500～700万円	374人 (26.6%)
700～1,000万円	295人 (21.0%)
1,000万円以上	154人 (10.9%)